

## 代表質問にかえて

<予算編成について>

財政課

内田新市長初の通年予算編成です。個人法人市民税ののびと東岡崎駅第一期工事、藤川道の駅や翔南中学校などの大型公共事業のいったんの終了により、通常より余裕のある予算編成だったのではないのでしょうか。

施設保全計画から見ても、今後数十年は、新たな建物建設は難しいと判断されたと思われませんが、これまでの公共事業のあり方、また今後の公共事業のあり方について、財政面からお考えをお聴かせください。

<リバーフロント、ツインブリッジ計画について>

藤川・東岡崎拠点整備室、道路建設課、調整課

市長が公約の目玉としてきた、リバーフロント計画について、殿橋・明代橋ともに県道で、岡崎の重要な幹線道路です。特に殿橋の南北端の道路幅から考えると拡幅工事が必要と思います。しかし、本来は県が工事をすべきところです。県は現状、殿橋の架け替えについてどのように言っているのか、市長は、県との協議をどのように進めて行かれるのか、県に着手の予定がなければ、岡崎市が肩代わりをして工事をされるのか、お聞かせください。

<施設保全計画>

施設保全室

笹子トンネルの重大事故により尊い命が失われたことで、ようやく、政府も老朽化したインフラ整備に目が向き始めました。岡崎市においても、平成24年度から公共施設保全計画により、基金が積み立てられ、その計画が実施されています。この保全計画の総額とその財源確保、年度ごとの計画はどのように積み上げられていくのか、その方向性をお聞かせください。すでに耐用年数を超えていたり、空調などに支障が出てきている施設もあります。早急に実施しなければならぬ施設はどこか、その保全計画年度はどのようになっているのか、お聞かせください。

<市民参加の市政について>

広報広聴課、市民活動推進課

市長の公約の中には「市民との対話集会」という言葉はありましたが、岡崎市は「市民がつくるもの」という市民主導型市政の部分がほとんどありませんでした。市長の「市民参加型の市政」の考え方(賛否)をお聞かせください。

2013年3月17日(日)

市民参加型市政は多くの時代の流れとなっています。今後展開されていくのであればどのような具体的な方法の市民参加を取り入れるお考えか、お聞かせ下さい。

前柴田市長は、「市民主導型市政」を公約し初当選当初は「明日の岡崎を語る会」「審議会の公募」「ワークショップの実施」など不十分ではありましたが、一定の施策を展開してきました。内田市長も選挙戦で、「市民との懇談」を掲げて当選されました、**25年度予算に、計上されている予算は、ラウンドテーブルの焼き直しにならないように。市民との車座的な集会（市民対話集会）を開かれる予定があるのか、お聞かせください。いつごろから開始をされるのか、お答え下さい。**

<選定委員の公募について>

契約課

近年、プロポーザル方式による入札が増え、そのための委員の選定が随所に行われています。委員選定の基準、委員会の公開、結果の公開についてお考えをお聞かせください。

<観光施策について>

観光課、教育委員会学校指導課、建築課、交通対策室

市長が目玉としている観光都市岡崎の実現について伺います。

岡崎市における、歴史をいかした観光のまちづくりは同感するところです。その点で3点について伺います。

①歴史と町を作ってきたのは、「住民」です。建物だけではなく、そこに生きる人々の生活が感じられるのが観光です。観光客が岡崎のよさを感じてもらうには、市民自身が「岡崎市」という町に誇りを持ち、自信を持ってアピールする必要があります。そのためには市民に対してどういう施策・啓発・協働を行っていくのか、お聞かせください。

②建物であれ風景であれ、それを保全して行くには、開発という土地利用の変化と闘わなければなりません。たとえばビスタラインを保全するために、高い建物を規制していかなければなりません。三河富士と呼ばれる村積山が住宅開発によって、その形を変えてしまったことは、本当に残念です。

岡崎市には、市民の運動などからつくられたまちづくり条例や、開発規制があります。その点で、市長は、開発会社、民間企業の収益活動に反対してで、市民や観光客の立場から、町並み保全、景観保全をされていくつもりか、お聞かせください。

③ JR岡崎駅や東岡崎駅に降り立った観光客が、市内の名所旧跡を回ろうと思っても、バス路線がたいへん不便です。たとえば、交通の便のよい大樹寺から、真福寺。岩津天満宮へ行くバスはありません。まして、天恩寺、くらがり溪谷なども公共交通ではいけません。

観光都市をめざすならば、自家用車や観光バスがなくても市内を巡れる公共交通の充実が必要です。市民の足となり、観光客を乗せる公共交通（バス）の充実について、市長のお考えをお聞かせください。

#### < TPP > 秘書課

安倍首相は、国民の世論や、国会内での意見の分かれている TPP への参加を近日中にも決定しようとしています。すべての関税と非関税障壁の撤廃が参加の大前提であることは、安倍首相がどのような言葉を使ってごまかしても、事実です。せめて自民党の公約6項目は遵守されるべきです。

TPP交渉の対象として公共投資（政府調達）の分野も含まれており、これは「地元企業優先」という地域経済をつくる自治体の公共投資のあり方も変えていくものです。TPPの参加によって岡崎市民と地域経済（農業、建築、土木、雇用、金融など）にもたらされる影響も少なくありません。TPP交渉参加について、地方から「6項目の公約を守れ」の声を上げていくべきと考えます。市長のお考えをお聞かせください。

#### < 防災 >

##### 防災危機管理室

東日本大震災から2年。阪神大震災から18年が経ちました。これらの大災害の教訓が生かされる防災計画を作らなければなりません。

今年6月に県の防災計画の見直しに合わせ岡崎市の防災計画が行われます。市民に防災意識を喚起するには、避難訓練の実施が有効です。夜間避難訓練、しょうがい者や高齢者、外国人など要援護者を含めた訓練の実施を進めるべきですが、町内会や学区に対して避難訓練の実施をさらに促進する計画はありますか。

以下、2013年度 予算案について、日本共産党の予算要望を元におたずねいたします。

### < 1 > 市民の暮らしと福祉、健康を守ること

#### < 消費税の増税 >

秘書課、財政課

6年15月、民主党政権は、自民公明の三党合意のもとに、「税と社会保障の一体改革法」を成立させました。これによって、来年4月に8%、再来年10月には10%へ消費税率が引き上げとなります。

消費税の増税によって、市の財政にどのような影響がありますか。また、市民生活、市民の経済活動、市内中小業者への影響はどのようなものがあると果敢が得られますか。

社会保障の改革で、生活保護費の見直し、介護保険、医療保険、しょうがい者福祉などにおいて、削減の方向が打ち出されています。持続的な制度のためと言われますが、市長は、社会保障の一体改革が進められることで、将来にわたり市民の福祉の増進に寄与されるとお考えでしょうか。お聞かせください。

<高齢者福祉・介護保険について>

長寿課

第5期介護保険計画での施設整備計画は、この3年間でわずか29床の施設5つの計画です。現在の岡崎市の特別養護老人ホームの待機者は1700人を超えています。西尾市は100床、知立市は60床の計画を持っています。岡崎市も100床規模の新たな特養を建設すべきです。待機者解消についての計画をお聞かせください。

健康で過ごせる「健康寿命」は平均寿命より6～8才短いと言われていきます。(国立社会保障人口問題研究所)「寝たきり」ではなく、「できる限り元気な人生」を送るために健康寿命80年を目指すことが必要です。そのために、市は寝たきりをつくらないための、第一次介護予防事業に対して、実効ある計画と目標を持つべきです。寝たきりにさせないための施策について、現状と今後の計画をお聞かせください。

認知症の疑いのある人の「日常生活動作」等把握のために家族や本人医療関係者に「生活支援アンケート」を実施して、早期の適切な診断、ケアにつながる方策を考えるべきです。増えている認知症高齢者への対応策と、アンケートの実施についてお考えをお聞かせください。そのために、長寿課に保健師だけでなく、作業療法士の配置をすべきです。お答えください。

介護予防施策のひとつである寿バス切符の復活は市長も選挙戦で公約されたものです。復活をする予定か、お聞かせください。

<生活保護について>

生活福祉課

生活保護基準の削減を2013年8月から基準額と期末一時手当を合計7.3%減額するとしています。ケースによっては3千円から2万円の減額となります。厚労省の試算では、89%の世帯が減額になり、もっとも影響を受けるのは、子育て世代です。親から子どもへ「貧困の連鎖」がさらに増えるのではないかと心配です。

生活保護費が下がれば、年金支給額や市民税非課税基準、介護保険料、国保料や就学援助とも連動し、幅広い市民が影響を受けることにならないか。国はとりあえず、保育料と就学援助については、「影響のないようにする」といっていますが、国からの通達と市の方針について市長のお考えをお聞かせください。

#### <しょうがい者福祉について>

障害福祉課

基本料金610円のタクシー券が、年間36枚、配布されています。年額の枚数が削減されましたが、命や健康を守るための、病院への通院に使おうと思っても、月3枚しか使えません。

しょうがい別のタクシーの利用状況をお聞かせください。タクシー券は本人あるいは代理人が市役所に撮りに来なければなりません。人に頼める方ばかりではありません。タクシー券の郵送はできないのか、お聞かせください。

#### <県の福祉給付金削減>

福祉総務課

愛知県は来年度(平成26年度から)175万人の県民が対象になっている福祉医療制度(高齢者医療、子ども医療、しょうがい者医療、母子父子医療)について、10~20年後の財政負担増水系を唯一の理由にして、低所得者(市町村市民税非課税世帯)28万人の無料は継続するものの、それ以外の117万人の世帯に一部負担と所得制限を行う「見直し素案」を公表しました。

一人暮らしの高齢者の医療費無料制度は、県が廃止をしましたが、愛知県下のすべての自治体が肩代わりして継続されており、「安心して病院にかかれる」と喜ばれています。

県民の福祉を切り捨て、市町村に大きな負担を強いる、県福祉給付制度の廃止を中止するよう、県内他市とも連携して、県に申し入れをすべきです。お考えをお聞かせください。

#### <子ども発達支援センター>

障害福祉課

市長は、子ども発達支援センターを民間活力を導入するPFI方式で行う

としています。福祉や医療の分野に PFI 方式はなじみません。高知県の医療センター、近江八幡市の総合医療センターなどが破綻しているのを市長はご存じだと思います。

なぜ PFI 方式を導入しようというのか、その理由をお聞かせください。直営、直接建設？とのメリットデメリット、経費比較、サービス比較をお聞かせください。

#### <子ども子育て新システム>

保育課、

「官から民へ」の号令の下に、保育の民営化を進める子ども子育て新システムがいよいよ今年度から本格始動します。

岡崎市は今年度、法に基づいて子ども子育て会議を設置します。会議のメンバーの選定方法、公募の方法などをお聞かせください。また、子ども子育て会議で話し合う内容、基本的な考え方、期日をお聞かせください。

#### <子育て支援について>

保育課

第三子保育料の無料化を県の補助金カットを理由に、2年間での制度の変更が予定されています。第三子無料化に所得制限が導入されて一部有料になります。この一部有料化の導入の理由は、「県の補助金廃止に伴って」ということでしたが、西三河でもほとんどの自治体が、第三子保育料の無料化を継続しています。所得制限によって、保育園に入れたくても、家計の事情で入れられない、こういう家庭が出てきたときにどうするか。お聞かせください。

岡崎市では乳幼児を中心に実質的待機児童がいることが昨年9月の答弁で明らかになりました。この第三子無料化を制限したら、入所希望者が減って、待機児童がいなくなるのでしょうか。その予測をお聞かせください。

子ども

幼稚園に通っている子どもも、基本的には同じであるべきです。幼稚園の第三子に対する補助制度の現状と、無料化実施について、お考えをお聞かせください。

## < 2 > 生活環境の整備、地域経済の振興で住みよい岡崎づくりを進めること

#### <商工業>

商工労政課

景気の悪化により資金が滞った中小企業の大量の倒産を避けるために、国は平成21年から円滑化法をおこない、借り換え制度による金利の低減、あらたな資金調達を行ってきましたが、25年度、国はこの制度を廃止する方向です。廃止に伴い市内業者への影響についてのお考えをお聞かせください。また、円滑化法の廃止により市内中小企業の倒産を避けるため、市としての方策をお聞かせください。

建設奨励金の徹底要件に、新規正規社員の拡大があります。この間、奨励金を受けた企業が、正規社員として新規雇用をしているか、実態調査はされたか、お聞かせください。

#### <賃金引き上げ目標>

商工労政課

デフレ脱却、景気回復は賃上げなくしてなしえません。安倍首相も「企業に対して賃上げ要求」を初めて行いました。内部留保をため込まず、国民の所得を増やして循環する経済に寄与するべきではないでしょうか。岡崎市の地域経済のためにも市民の生活のためにも、内田市長は、岡崎市の黒字の大企業に対し、賃金の引き上げ、雇用の拡大を要望すべきと考えますが見解をお聞かせください。

#### <コミュニティバス>

交通対策室

高齢化社会の中で、いつまでも高齢者が元気で外出できる保証は、使いやすい公共交通です。また、公共交通の利用によって渋滞の緩和ができ、道路造りに多額の費用を用いる必要もなくなります。日本共産党市議団は、あつたか岡崎市政の会とともに、コミュニティバスの実現を再三にわたり要求してきました。

交通政策計画最終年度に当たり、地域内交通の充実についての説明会を矢作地域でおこなって、全市での話題になって広がっていく効果を考えるとお答えになっていました。

この説明会には、どういう案をもっていくのでしょうか、計画案を提示し、修正、付け加え削除しながら計画を作り上げていくと思われませんが、その土台となる計画案には何を持って行くのか、お聞かせ下さい。

岡崎市の鉄道以外の基幹線はやはり 西康生通から伝馬通5丁目の東西路線、奥殿陣屋から福岡までの南北路線です。この2本の路線をバスではなく定時はかれる路面電車(ライトレール)の導入も観光の目玉としても、市民の足としても一度検討されてはいかがでしょうか。路面電車の停留所が拠点として地

域内交通を結集させて行くことも出来ます。また、その停留所にパークを設け、路線外の人が車でこれられるパークアンドライドについて検討されてはいかがでしょうか。路面電車の復活とパーク&ライドの実施についてお考えをおきかせください。

### < 3 > 憲法に基づく民主教育の原則を守り、 教育、文化、スポーツ施設などの充実を図ること

<体罰について>

教育委員会学校指導課

大阪桜宮高校のバスケット部主将の自殺を機に、体罰についての世論が広がっています。体罰を受けたり見たりした子ども達の心の傷、暴力では何も解決しないという教育の原点から考えれば、教育の現場に体罰があってはなりません。しかし、一方で、「体罰が精神を鍛える」という考え方も一部の部活動や体育の教員などの間に根強くあるのも否めません。言葉の暴力も含めた、体罰について、教育長の基本的な見解をお聞かせください。

岡崎市における体罰の実態は把握されていますか、また最近の事例についてはどのように対処しているか、お聞かせください。

<いじめについて>

教育委員会学校指導課

岡崎市内小中学校における、報告されているいじめの件数をお聞かせください。それらはどのように解決されましたか、あとおい調査をされていますか。お聞かせください。いじめ問題について、教員・保護者への研修などは学校現場でどのように行われていますか。お聞かせください。

個別の話を聞きカウンセリングを行うスクールカウンセラーとちがって、スクールソーシャルワーカーは、個人とその環境にも配慮した解決に向けて相談活動などを行う人で、児童相談所、家庭、など個人以外の環境を視野に入れた活動ができます。現在スクールカウンセラーが配置されていますが、さらに一歩進んで、複雑なケースに対応できるスクールソーシャルワーカーを配置すべきと考えます。お考えをお聞かせください。

いじめも体罰も、根本には「子ども達の誰もが持つ生きる権利」を大切にし、保障される教育が行われていることが必要です。

そのために、子ども達自身が「生きる権利がある」という生存権を自覚することで、相手の権利も尊重できる子どもが育ちます。



子どもの権利条例制定についての見解をお聞かせください。

<就学援助制度について>

教育委員会指導課

生活保護の扶助費の基準が改悪されようとしています。生活保護費を基準としている就学援助制度に、影響はありますか。

岡崎市の就学援助を受けている子どもの割合が他市に比べて多くありません。基準が低すぎるのではないのでしょうか。また、就学援助についての周知の不足や不理解はないのでしょうか。必要とするすべての世帯が就学援助が受けられているか、教員への周知はどのように行われていますか。また、地域の民生委員さんとの連携はとれていますか。基準の引き上げを行うべきと考えますが、お考えを。おきかせください。学期ごとの支給から毎月の支給に切り替えられるかお答えください。

<教員の多忙化解消について>

教育委員会学校指導課

いじめの根絶は早期発見です。しかし、教師は、授業以外の多忙化で、解決したくてもゆとりがありません。教師の多忙かはなぜ解消されないのでしょうか。忙しいことが優秀な教師で、忙しくない教師はだめ教師、そんな風潮が職場の中にあるのではないのでしょうか。多忙化の解消がなぜなされないのか、見解をお聞かせください。

数年まえから教職員もタイムカードを記入することになりました。教員のタイムカードについて三河教員労働組合が2012年4月の岡崎市市立小中学校の勤務記録簿を調査をした結果、岡崎市の教員で時間外労働が月80時間を超えている教員は全体の0,7%。同じく幸田町での調査は、23%、豊田市では26%となっています。

時間外労働が80時間を超える教師の数が他の市と大きな隔たりがあるのはなぜか、見解をお聞かせください。

「ある教員が、試しに80時間を超える記録を提出した。すると、校長からすぐによびだしがかかり、『これを出すと市教委から私のところに間違いなく指導が入り強制的に帰れとあなたに言わざるを得なくなる。自分たちの首を絞めたいためにも、80時間以内で出し直してくれんか』と言われ全然納得できなかったが、仕方なく70時間55分に書き直して提出した」という報告がありました。

岡崎市の教員の勤務時間の管理は具体的にどのように行われているのか、教員自身の自主申告だけではなく、教員の健康管理の立場から、自主申告ではな

く、機械を使つての出退勤時刻管理をすべきと考えます。お考えをお聞かせください。

<給食無償>

教育委員会学事課

市長の「給食無料化」の公約に期待して、投票された若い親御さん達も少なくないのではないのでしょうか。16億円の財源を捻出することはたいへんですが、せめて一部からでも実施をすべきではないのでしょうか。たとえば 〃〃〃 など、無償化に踏み出すべきと考えます。お考えをお聴かせください。

<35人学級>

教育委員会学校指導課

民主党政権が公約し、あと一步で小学校、中学校も学年が広がった少人数学級です。現在愛知県の事業として小学校1, 2年生、中学校1年生で実施されています。安城市、豊田市、知立市なども単市でも一学年拡大させる計画を持っています。岡崎市も、少人数学級の拡大をすべきです。お考えをお聴かせください。

<学校給食センターのPFI方式について>

教育委員会学事

本年から、東部給食センターの造成、設計、建設事業が始まります。設計施工一括発注方式で行うとのことです。

一括発注方式のデメリットは、それぞれの事業での競争原理が働かなくなる、設計と建設の間がブラックボックスになりやすい、責任の所在が明かになるようにみえますが、他のPFIを実施した給食センターでも、修理や維持管理など結局発注方法は今までのように、各事業者に連絡する、といったように従来と変わりがないとも言われています。

一括発注方式によるメリットを、具体的にお聞かせください。また、それを経費換算するといくらぐらいになるのか、お聞かせください。

今後、設計を進めるに当たって、現場で働く人達の意見をいつ、どのように何回聞いて進めるのか、そのことは要求水準書にかかっているか、お聞かせください。

市は今後、立て替えにあわせて、現在の4センターを3センターに集約する方向を示しています。なぜ集約しなければならないのでしょうか、3センターにすることは、子ども達や学校にとってどういうメリットがあるのか お聞かせください

#### 4. 自治権

##### <透明公正な市政の運営>

市民協働課

市長が就任されて以降も、1980年の内田買収事件を二度と繰り返さないだろうか、市民の中では拭っても拭いきれない、汚名として岡崎市の歴史に刻まれています。市長は、やはり、この事件の陰を払拭するべく、市民に対して透明公正な市政の運営を誓い、実践すべきではないでしょうか。12月議会でもおきしましたが、内田買収事件の温床となった、総代会や企業、団体をつかっただぐるみ選挙に対する市長のお考えをお聞かせください。12月議会では、『各町内、学区で総会などで確認されていると思っている』とおっしゃっていましたが、実際には、総会など開いて決めるところはほとんどありません。市民の不信あるところだからこそ、推測ではない、本当に学区や町内の総意で推薦が行われたのか、確認をすべきですし、そうした疑惑を招く部分は一掃する、こういう市政を市民に示していただきたいと思います。学区、町内会ぐるみの選挙、推薦状をとる選挙運動は、排除してください。お考えをお聞かせください。

#### 5. 平和、

##### <9条改正について>

秘書課

先の12月議会で、市長は「9条には思いもあるが、市長の立場として言うべきではない」と答弁されました。自民党の憲法改憲草案では、9条の「戦争放棄」は削られ、集団的自衛権行使が盛り込まれ、これによって日本が海外で戦争が出来る国になります。市長は自民党県議でした。憲法改正に賛成されると考えてよろしいでしょうか。

総務文書課、秘書課

9条改正の中身は自民党憲法草案をみると「集団的自衛権の行使」を盛り込み、アメリカといっしょに戦争ができる国作りをすることです。もし、日本が戦争のできる国になったとき、徴兵制度の開始も現実になれば岡崎市民も戦争にかかり出されることとなります。岡崎出身の自衛隊員は何人いますか。市長の集団的自衛権が地方政治・岡崎市民与える影響についてお答え下さい。

##### <空襲展>

秘書課、市民協働推進課、福祉総務課

2013年3月17日(日)

戦後68年、岡崎で空襲が会ったことも継承していかなければ風化します。一昨年、岡崎空襲体験を記録する会が毎年主催する「岡崎空襲展」がはじめてりぶらのオープンスペースで開かれ、千人を超える人達が来場し、「岡崎に空襲が会ったことを知らなかった」という人たちも多く訪れました。

この悲惨な戦争の体験を風化させず語り継ぐため、りぶらでの常設展示、収蔵をすべきです。お考えをお聴かせください。

<市長会としてヒロシマに参加を>

秘書課

内田市長は、柴田市長が加盟した平和市長会に継続して加盟をされると答えられました。二度とヒロシマの悲劇を繰り返さない、は誰もの願いでもあります。ぜひ、平和市長会の一員として、毎年、広島・長崎で開催される平和世界大会へご参加をいただきたいと思います。お気持ちをお聞かせください。